

春日明夫 特別講演会

## 「玩具でめぐる 世界の造形文化」

～人形・玩具は 人間や時代を映す鏡～

2023, 7/15(土) 13:00～16:00 [12:30 開場]

- 講演会場 実践女子大学(日野キャンパス) 香雪記念館 大教室(座席は自由席)
- 玩具コレクションの小展示 香雪記念館 106教室(1階)
- ◆ 学生有志によるハンドパペットの人形寸劇「オズの魔法使い」
- 対象:生活文化学科1～4年生と卒業生、保育・教育関係者等

### 【内容】

生きていくなかで誰もがふれる玩具は、子どもが誕生して初めて出会うアート&デザインであり、暮らしに密接した文化財でもあります。世界の文化の価値をもつ玩具は、形や色、素材や作り方など、その風土や環境、そしてその時代が映し出されています。世界の主な国や地域の民芸(民族)玩具や戦時中と戦後直後玩具などの特徴や文化を紹介し、歴史的背景や教育のねらいと共に、世界の玩具の魅力について語っていきます。中でも、世界の珍しい民芸(民族)玩具と日本の伝統的な玩具の造形文化比較は、本物の春日コレクションの実物を見せながら解説していきます。また、講演内容の一環として春日コレクションのハンドパペットを実際に使い、幼児保育専攻の学生有志(3年生 8名)による“人形劇「オズの魔法使い」”の実演“も行います。



春日 明夫 AKIO KASUGA 芸術学博士 教育学修士

1953年東京生まれ 東京造形大学名誉教授 実践女子大学生生活文化学科幼児保育専攻非常勤講師

【専門分野】 チャイルドカルチャーデザインなど、子どもをめぐるデザインや造形教育。ワークショップや講演会を展開。世界の玩具や遊具を収集しており、関係資料を含めるとその数は約1万点余りになる。全国の美術館や資料館においてコレクション展を多数開催してきた。主に自然材料を用いた創作玩具や民族・民芸玩具が対象で、玩具を通じた比較造形文化研究を行っている。代表的な玩具関係の単著に「玩具創作の研究」、「創作玩具」、「世界のアーティスティックの木玩具」(共に日本文教出版)、「世界のアートな玩具たち」(アートキッチン)など。

### 《 問合わせ先 》

実践女子大学 生活文化学科 〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1

アクセス：JR 日野駅から徒歩 12 分

連絡先：042-585-8918 / E-mail：seibun-event@jissen.ac.jp